

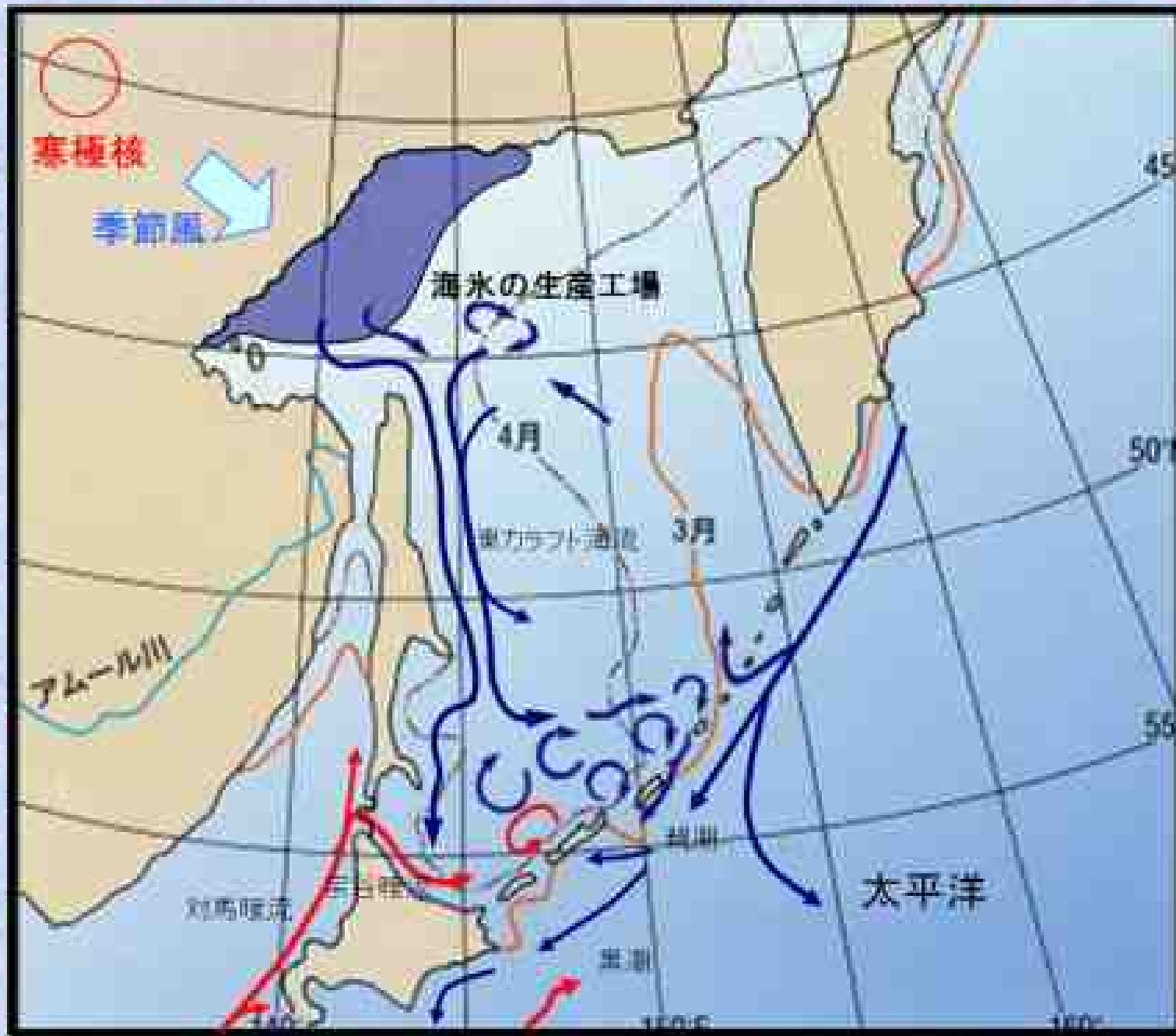
第1回新たな世界自然遺産候補地の考え方に係る懇談会(2012,8/28)

# 世界遺産「知床」の価値、 管理上の効果、科学委の取組、 現況と今後の課題

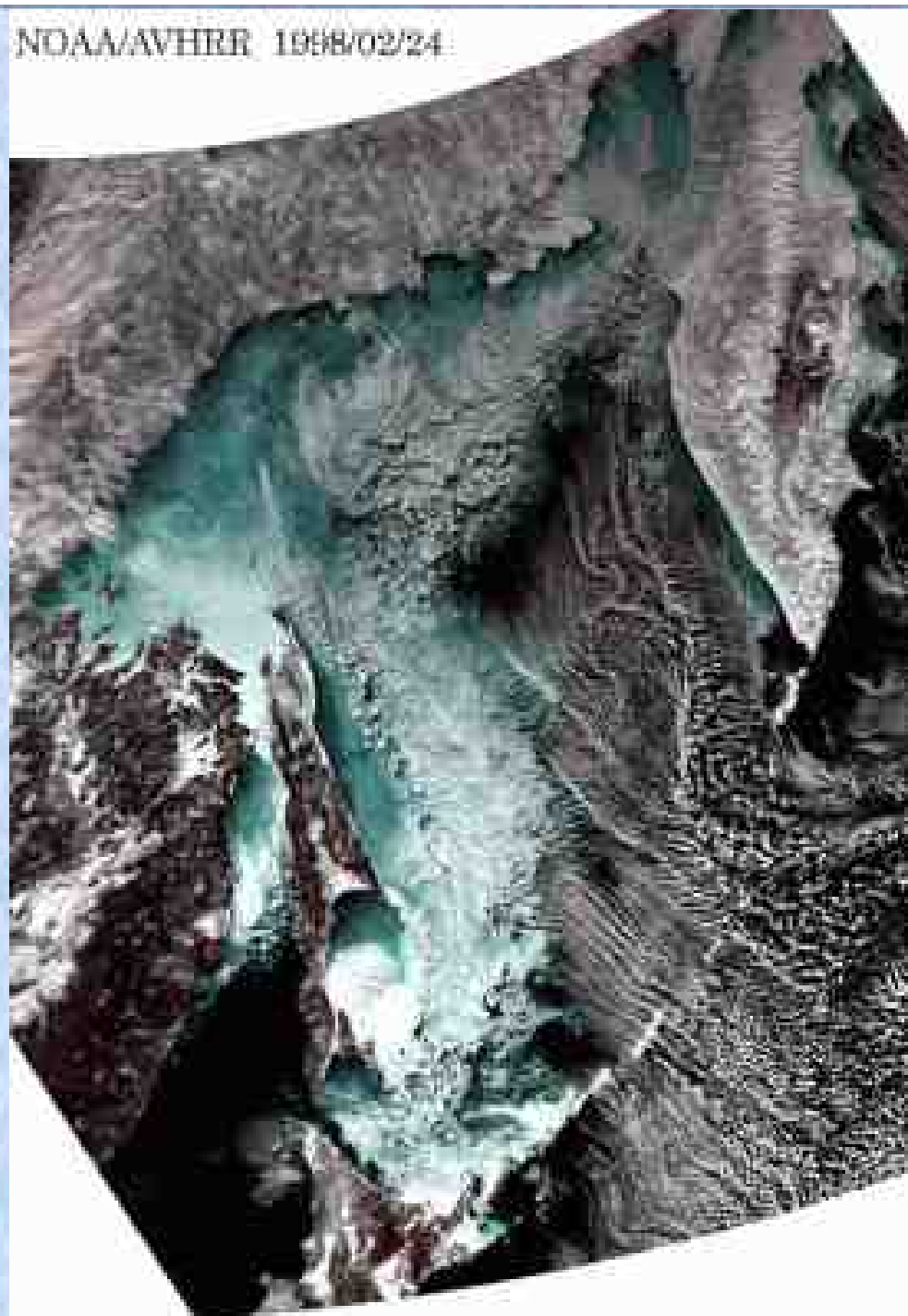


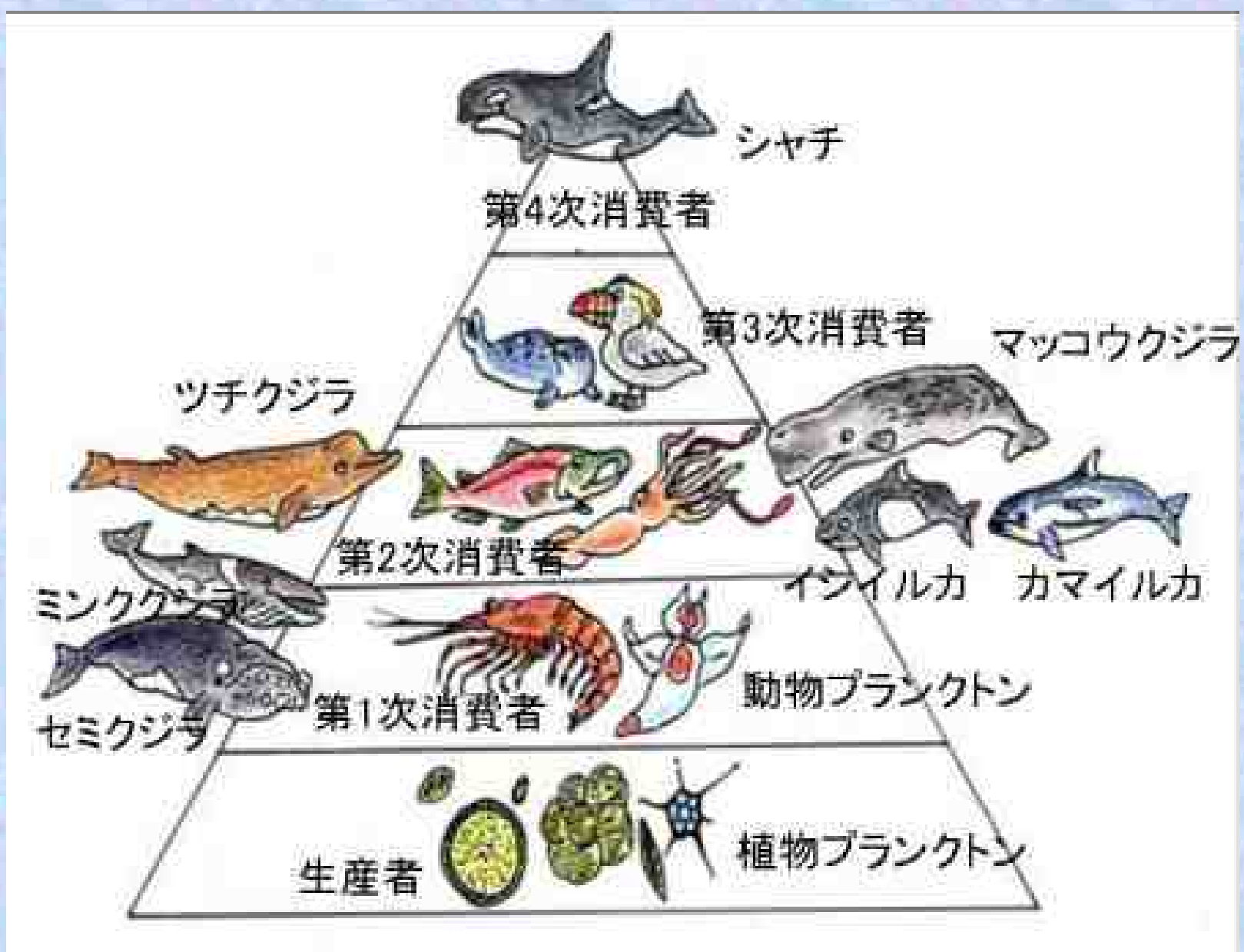
大泰司紀之 北海道大学名誉教授  
(北海道大学総合博物館資料部研究員)





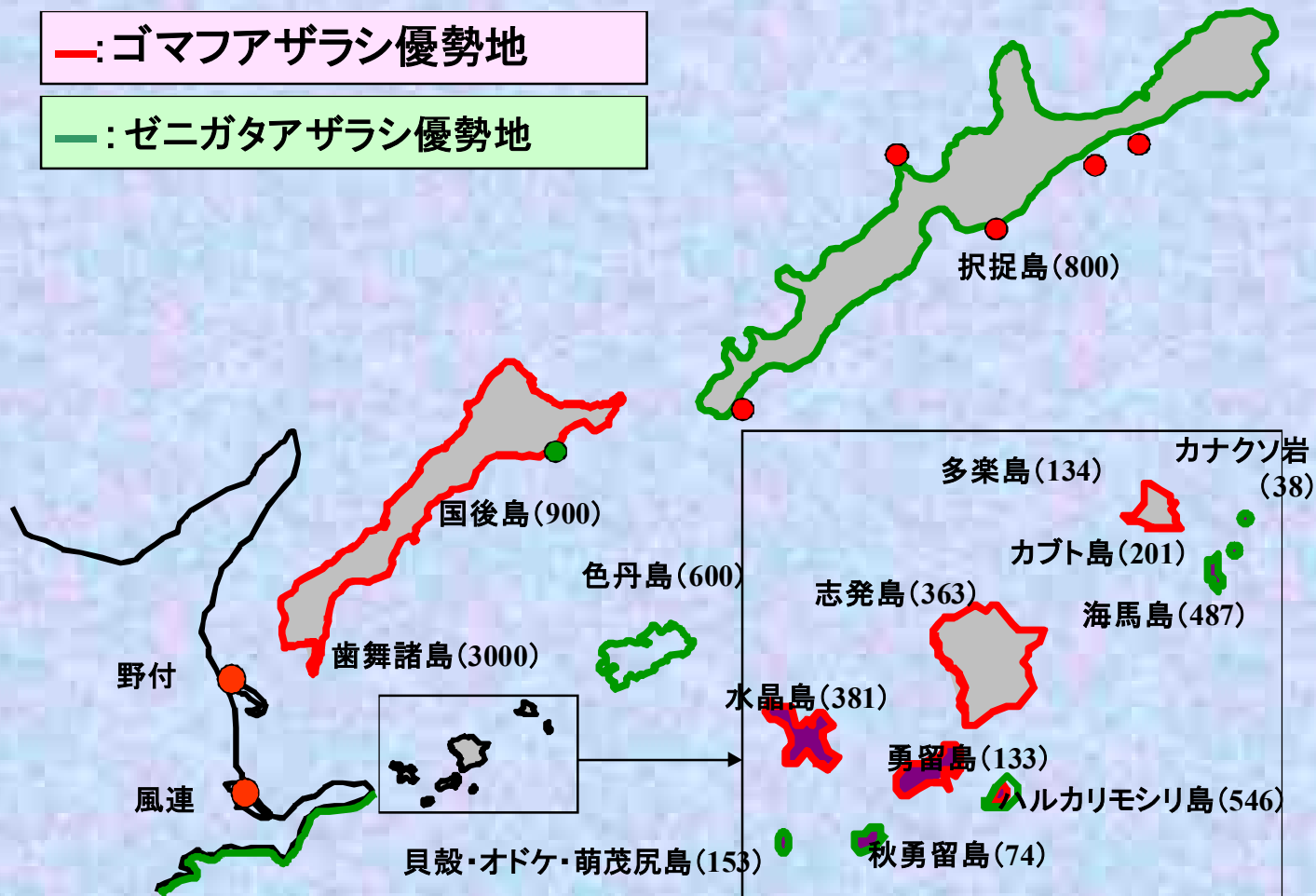
NOAA/AVHRR 1998/02/24



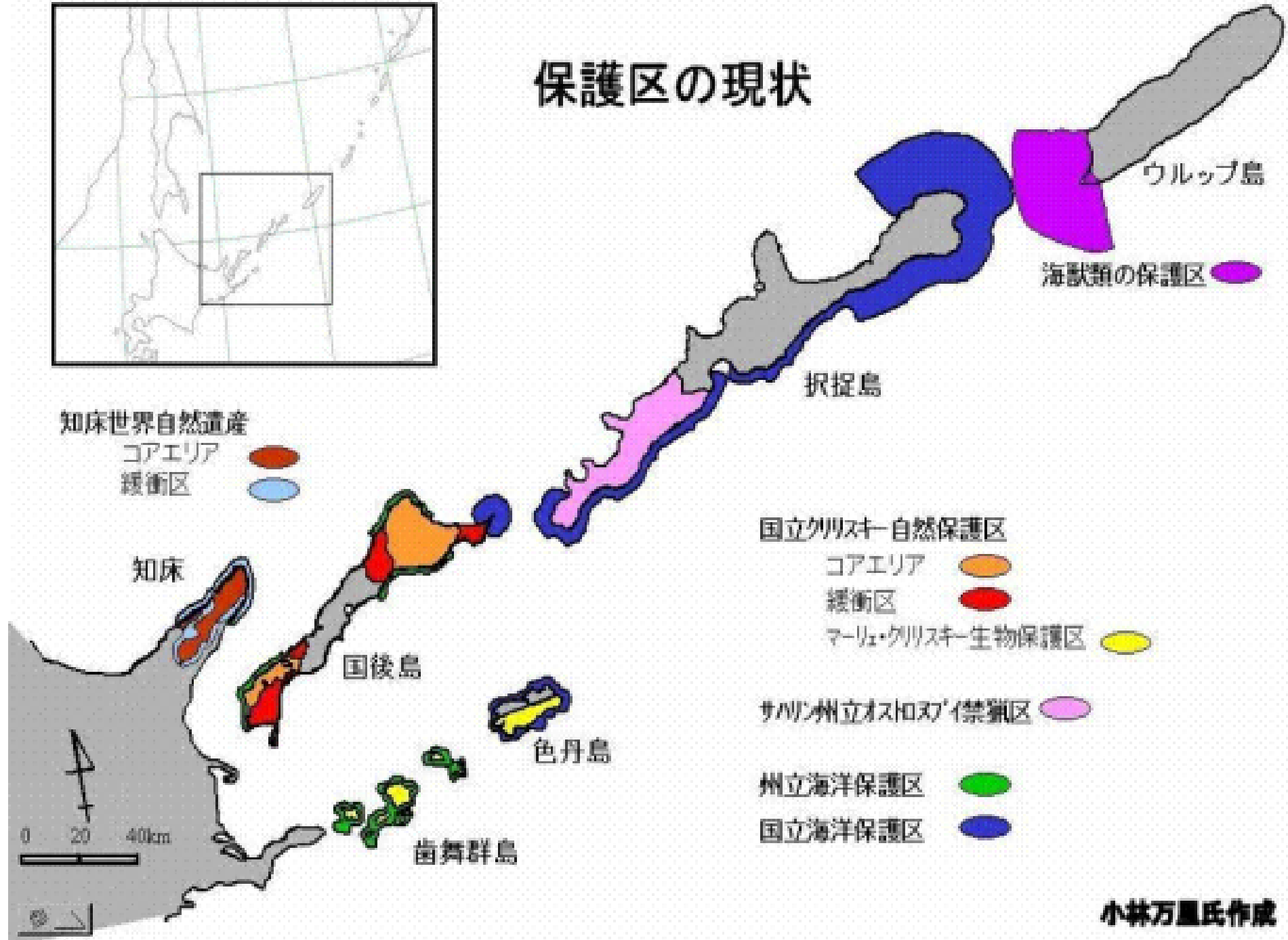
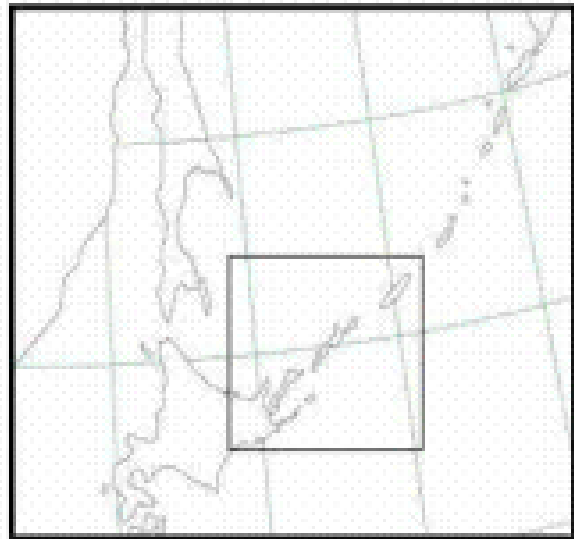


# 北海道・北方四島の夏期のアザラシ類の分布と個体数

- : ゴマフアザラシ優勢地
- : ゼニガタアザラシ優勢地

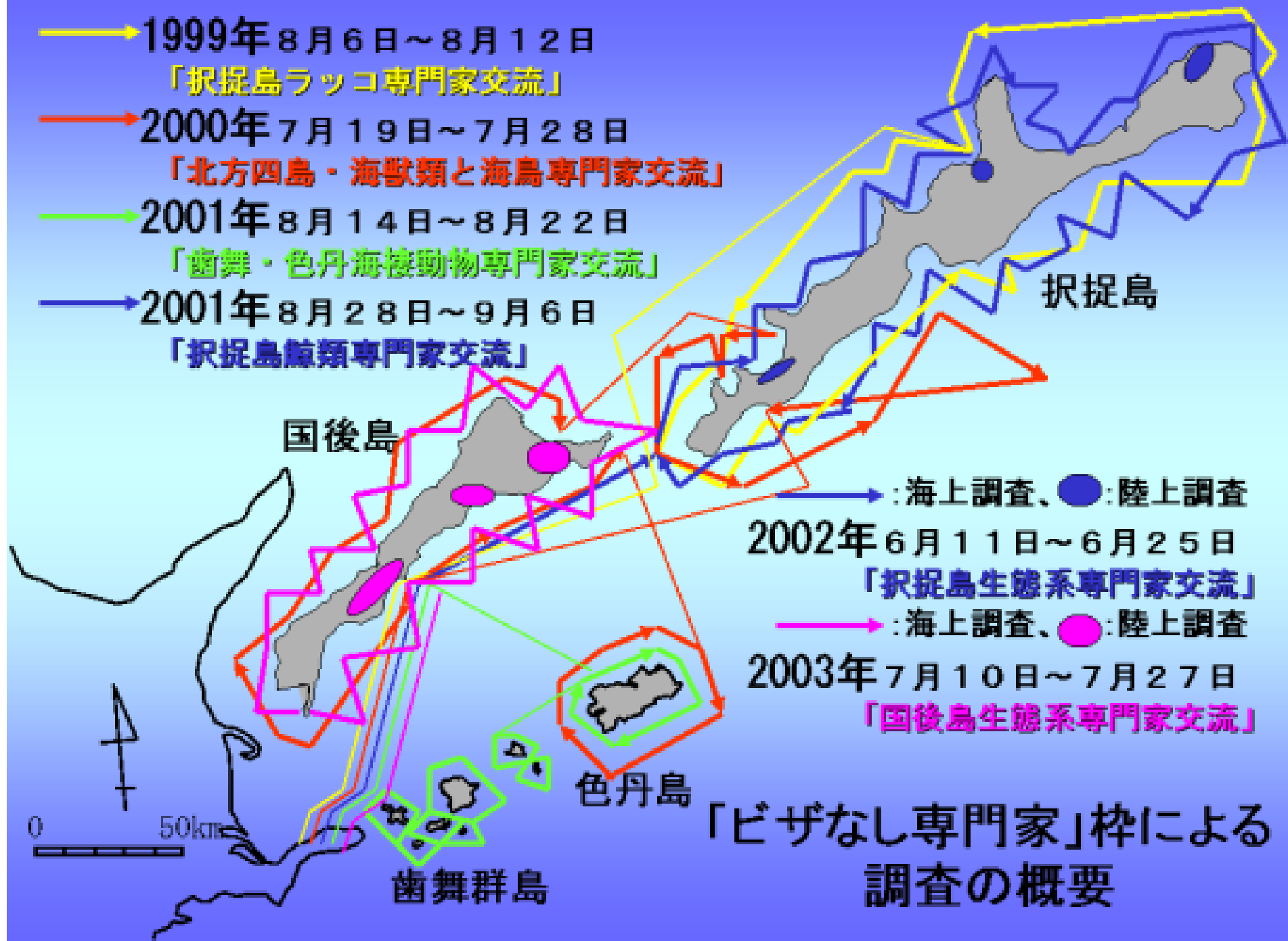


# 保護区の現状



小林万厘氏作成

- 1999年8月6日～8月12日  
「択捉島ラッコ専門家交流」
- 2000年7月19日～7月28日  
「北方四島・海獣類と海鳥専門家交流」
- 2001年8月14日～8月22日  
「歯舞・色丹海棲動物専門家交流」
- 2001年8月28日～9月6日  
「択捉島鯨類専門家交流」



- :海上調査、●:陸上調査  
2002年6月11日～6月25日  
「択捉島生態系専門家交流」  
→ :海上調査、●:陸上調査
- :海上調査、●:陸上調査  
2003年7月10日～7月27日  
「国後島生態系専門家交流」

「ビザなし専門家」枠による  
調査の概要



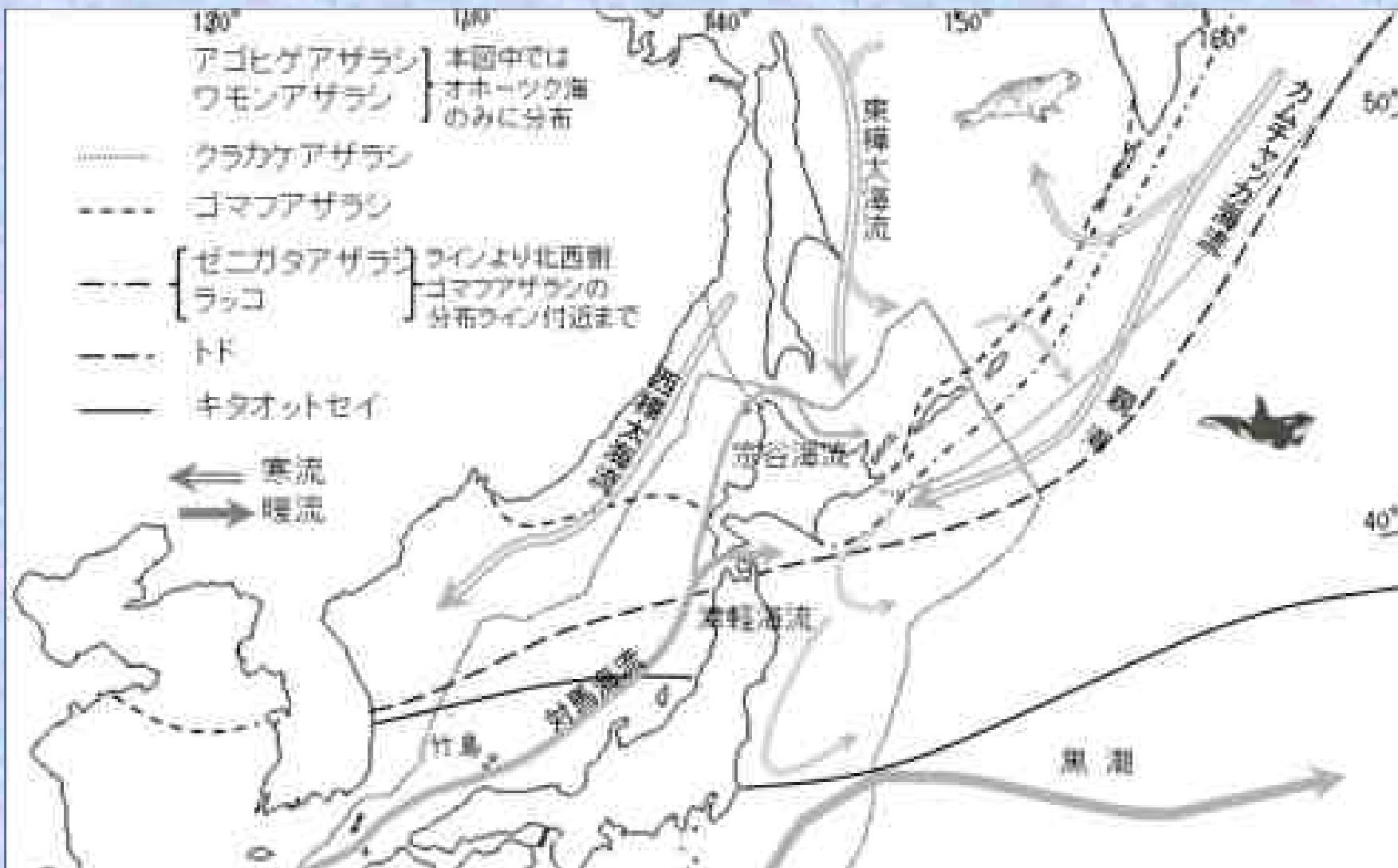


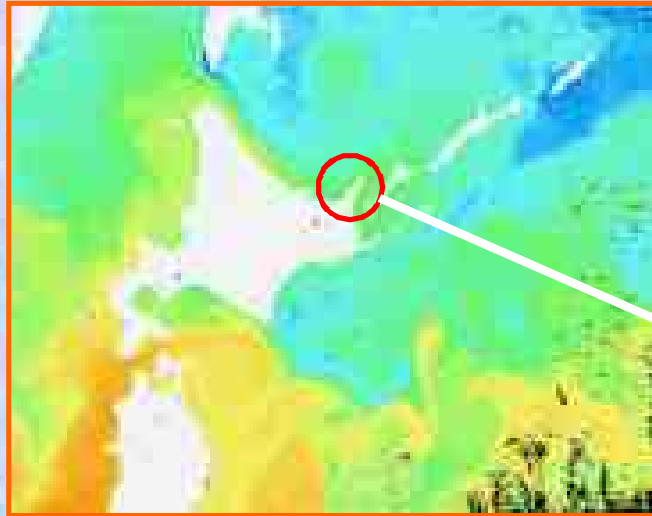


図3-4-6 トドの繁殖地と頭数および標識状況 ( 標識済み・北海道での再目撃あり, 標識済み・北海道での再目撃なし, 標識未実施, 石名坂より), および北方四島の上陸地(X Ep)



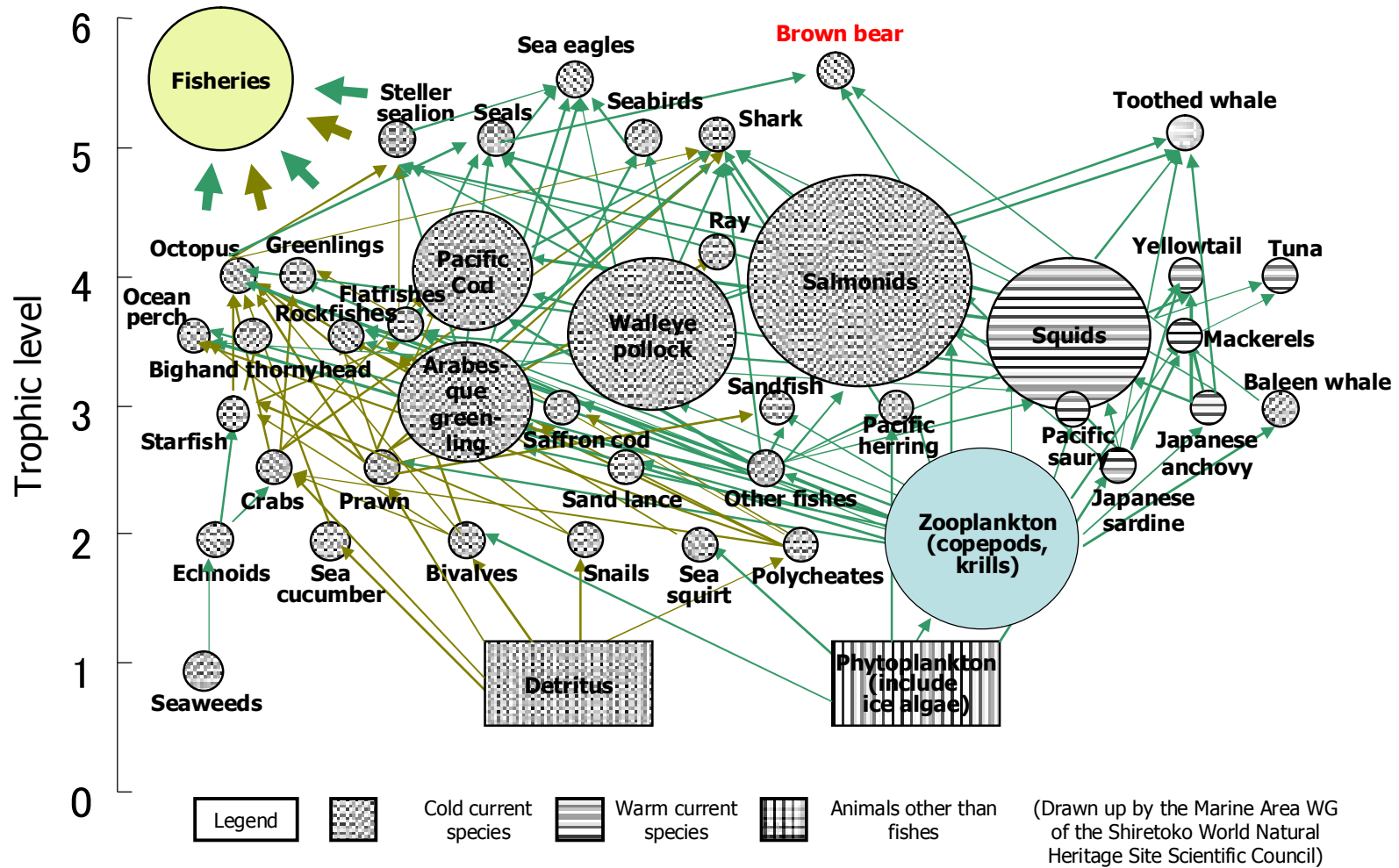






UNESCO decided on July 14, 2005 to add the Shiretoko area of Hokkaido, Japan, to the World Natural Heritage list. The area covers the Shiretoko Peninsula and surrounding sea areas up to 3 kilometers off the peninsula. The Shiretoko is located in the northeast of Hokkaido.

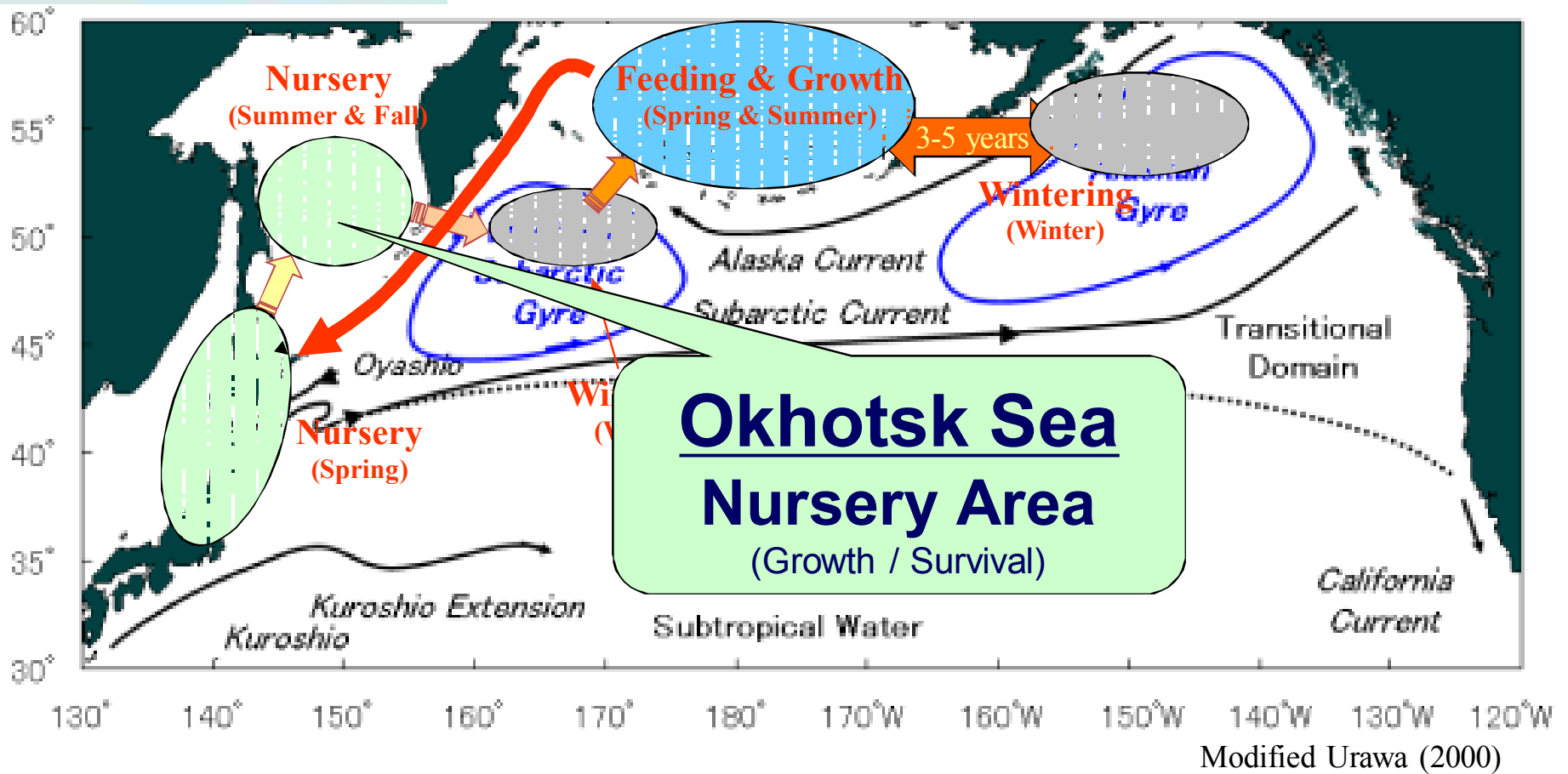
# ○ Food web in Shiretoko marine ecosystem



# Migration route of Hokkaido chum salmon



北海道シロザケの回遊ルート: オホーツク海は成長と生残にとって大切

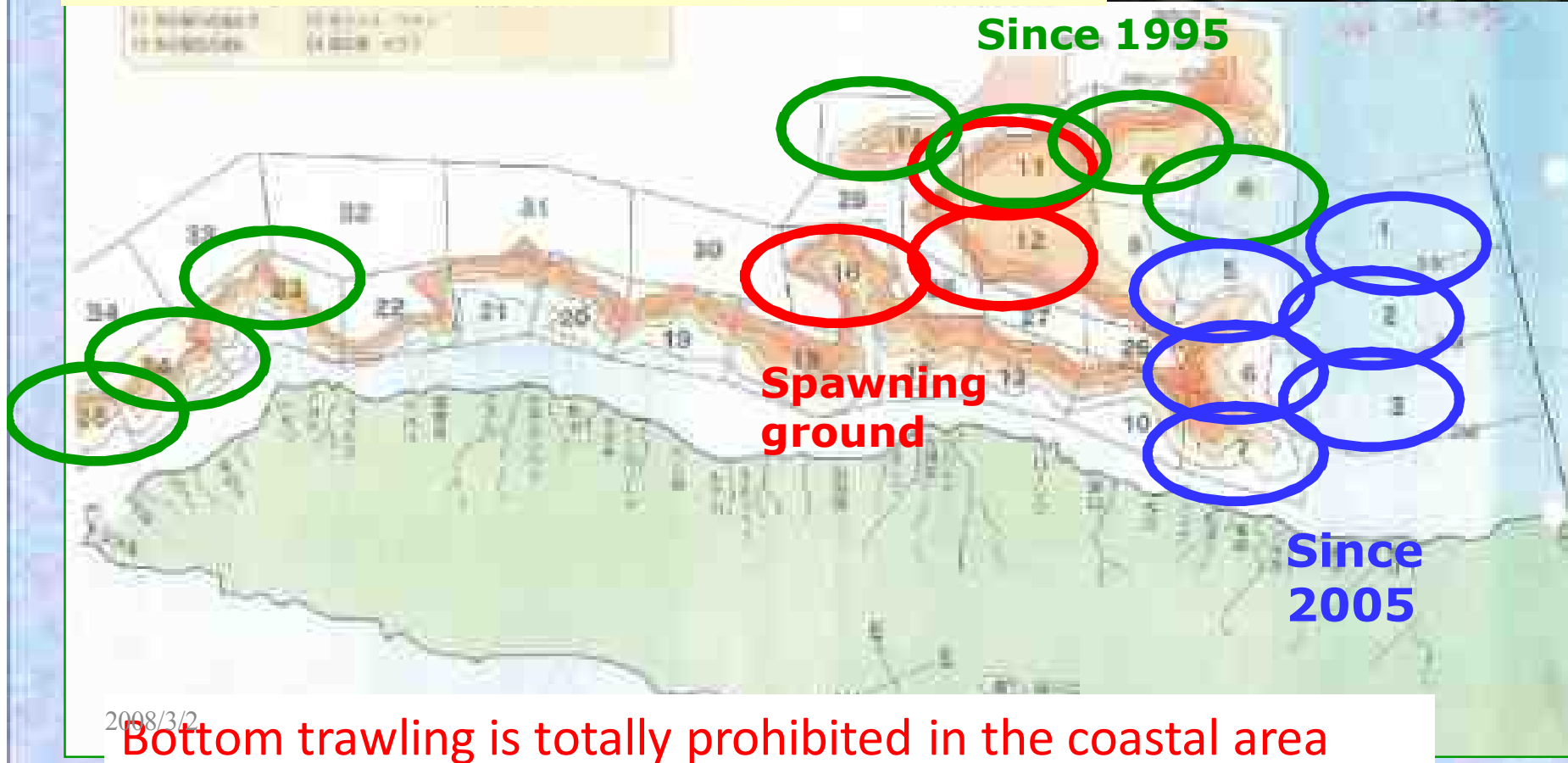


- (1) Early marine life in the coastal waters of northern Japan in spring,
- (2) The first summer in the Okhotsk Sea,
- (3) The first overwintering stage in the Western Subarctic Gyre,
- (4) Summer feeding ground in the Bering Sea,
- (5) Overwintering ground in the Alaskan Gyre,
- (6) Spawning migration to the natal river



# MPA to protect walleye pollock

- 177 boats fished walleye pollock in 1995
- Decreased to 86 boats in 2004 (49% reduction)
  - Compensation to retired fishers by Fisheries Organization
- Fishing ban during Mar 20-end since 1995
- Fishing ban area expanded in 2005



# 世界自然遺産の登録基準（クライテリア）

- |    |       |                        |
|----|-------|------------------------|
| 7  | 自然景観  | ひととき優れた自然美             |
| 8  | 地形・地質 | 過去の生命の歴史や地球の歴史の証拠      |
| 9  | 生態系   | 進行中の生物進化や生物群集の見本       |
| 10 | 生物多様性 | 絶滅危惧種、生物多様性保全上最も重要な生息地 |

◎登録遺産に類似のものがないこと

◎法的保護措置があること

<UNESCO世界遺産委員会による厳格な審査>

# 知床世界自然遺産の歩み(登録まで)

- ・ 1993年 屋久島、白神山地の世界遺産登録
- ・ 1999年 斜里・羅臼両町長が国・道に遺産登録を要請
- ・ 2003年 5月 世界自然遺産候補地検討会が3候補地選定  
10月 知床の推薦内定  
知床世界自然遺産候補地地域連絡会議設置
- ・ 2004年 1月 知床世界自然遺産候補地管理計画を決定  
7月 政府が知床を世界遺産委員会へ推薦  
7月 審査機関(IUCN)の現地調査  
**知床世界自然遺産候補地地域科学委員会**を設置
- 11月 質問に対する政府回答
- ・ 2005年 3月 2回目の政府回答  
7月14日 世界自然遺産登録決定(南ア・ダーバン)  
7月17日 リスト掲載(登録日)

## 知床世界自然遺産の歩み(登録から今日まで)

- 2005年 国立公園海域を沿岸1kmから3kmに拡張
- 2006年 河川工作物(ダム等)の改良工事着手  
「知床半島エゾシカ保護管理計画」策定
- 2007年 「多利用型統合的の海域管理計画」策定
- 2008年 2月 ユネスコ世界遺産センター及びIUCN現地視察  
7月 第32回世界遺産委員会  
知床の保全状況の評価が行われる。
- 2009年 4月 知床世界自然遺産シンボルマーク選定  
知床世界遺産センター開館  
12月 「知床世界自然遺産地域管理計画」策定
- 2010年 4月 科学委員会と地域連絡会議を改組  
知床世界自然遺産適正利用・エコツーリズム検討会議発足

# 管理体制

世界自然遺産地域管理者

環境省  
釧路自然環境事務所

林野庁  
北海道森林管理局

北海道

知床世界自然遺産地域科学委員会

海域WG

河川工作物アドバイザー会議

エゾシカ・陸上生態系WG

科学者による会議  
(助言機関)

適正利用・エコ  
ツーリズムWG

知床世界自然遺産地域適正利用・エコ  
ツーリズム検討会議  
(H22.4～)

知床世界自然遺産地域連絡会議

町、漁協、  
知床財団等

地域との連携・  
協働のための会議

適正利用・エコ  
ツーリズム部会

シンボルマーク  
管理運営部会

持続的な利用  
のための会議

# 各ワーキンググループの活動

知床世界自然遺産地域科学委員会(大泰司紀之委員長)

- 海域ワーキンググループ(桜井泰憲座長)

「知床の海の保全と持続的漁業」

- 河川工作物アドバイザー会議(中村太士座長)

「海と川と陸のつながりを復元する ―知床におけるダムの改良」

- エゾシカ・陸上生態系ワーキンググループ(梶光一座長)

「知床のシカの急増が及ぼす植生への影響と管理」

- 適正利用・エコツーリズムワーキンググループ(敷田麻実座長)

〈平成22年度より発足。6月22日 第1回検討会議開催予定〉



# 海況特性による我が国の排他的経済水域の海域区分



(1) 黒潮・亜熱帯海域、(2) 本州東方混合水域、(3) 親潮・亜寒帯海域、(4) オホーツク海、  
(5) 日本海、(6) 東シナ海  
①黒潮、②北赤道海流、③亜熱帯反流、④黒潮反流、⑤親潮、⑥津軽暖流、⑦宗谷暖流、⑧東カラフト  
海流、⑨リマン海流、⑩対馬暖流  
KF: 黒潮前線、OF: 親潮前線、W: 暖水塊、C: 冷水塊

# 謝 辞

小林万里(北の海の動物センター、東京農業大  
学生物産業学部)

知床世界自然遺産科学委員会

太子夕佳(北海道大学大学院獣医学研究科)

Burkanov, V.(ロシア科学アカデミー 太平洋地  
理学研究所)

本間浩昭(毎日新聞北海道支社報道部 根室)